

宇土太鼓祭 常世の庭

雨乞いの祈り。人籟はやがて地籟へ

～太鼓の響きが、時を超え、人をつなぐ～



3月16日(日)、宇土市民会館にて 「宇土太鼓祭 2025—常世の庭—」が開催されます！

江戸時代から受け継がれ、今もなお力強く鳴り響く **宇土の雨乞い大太鼓**。
その音は、一度鳴らせば一瞬で消えてしまうようでありながら、**人々の記憶に深く刻まれ、時代を超えて鳴り続けてきました。**

まるで、「過去」「現在」「未来」をつなぐ一本の線のように、いつの時代も変わらず、私たちの心に響き続ける音です。

そんな**宇土雨乞い大太鼓の文化**を継承する、宇土天響太鼓、太鼓芸能集団「絢衣」、宇土高校和太鼓部「鼓」の若手奏者による、魂を揺さぶる演奏をお届けします。

昨年9月、**宇土雨乞い大太鼓**は熊本県芸術文化祭オープニングステージにて、新潟県佐渡に拠点を置く、**プロ集団「鼓童」と共演し、「ひこばえ」という特別なステージを創作しました。**

鼓童との共演は、若い奏者にとって大きな経験となり、**太鼓の持つ無限の可能性**を改めて感じる機会となりました。その経験を糧に、今回の太鼓祭では、さらに進化した舞台をお届けします。

今回のテーマは「**常世の庭**」。「常世」とは、日本神話に登場する、時間を超えて魂が響き合う場所のこと。**太鼓の音が会場を包み込む瞬間、過去と未来がつながるような体験が生まれます。**

公演は「**人籟**」「**地籟**」「**天籟**」の三部構成。

人の感情や生命の鼓動を表現する「**人籟**」

大地そのものが鳴り響くような「**地籟**」

そして、すべての時間と空間を超えた響きを描く「**天籟**」

総勢30名の出演者が一体となって挑む今回の太鼓祭。伝統を超えた、圧倒的な音の世界を、ぜひ**劇場で、生で**体感してください！



宇土太鼓祭 — 常世の庭 —

江戸時代から伝わる宝物「宇土の雨乞い大太鼓」伝統を次の100年に繋げる、若手奏者達による熱いステージ。

- ▶ **日時**: 3月16日(日) 13:00会場 13:30開演
 - ▶ **会場**: 宇土市民会館大ホール 全席指定
 - ▶ **料金**: 一般2,000円/U25 (25歳以下割引) 1,000円/ペア3,000円/子ども応援チケット5,000円(一枚につき本人の他に宇土市内の小学生を3名無料招待)
※一般・U25当日各500円増。ペアは当日販売無し。
 - ▶ **販売**: 宇土市民会館、宇土シティモール、熊本県立劇場、ローソンチケット
- 問 宇土市民会館 ☎(22)0188(毎週火曜日休館)

